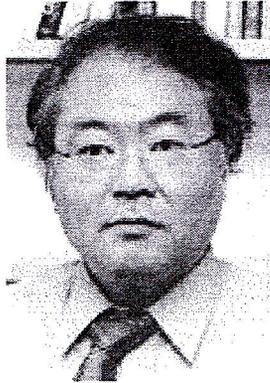


・高橋 洋一（たかはし よういち）氏 プロフィール



1955年9月12日生まれ。

東京大学理学部数学科卒業

東京大学経済学部経済学科卒業

大蔵省（現財務省）入省後 理財局勤務を経て米プリントン大学に留学。

帰国後小泉内閣において竹中平蔵大臣の補佐官、2006年に安倍内閣において内閣参事官に就任。改革の司令塔として郵政民営化・道路公団民営化・政策金融改革・公務員制度改革などを実現。07年には財務省が隠す国民の資産『埋蔵金』を公表し脚光を浴びた。

2008年3月に退官。

その様子は長谷川幸洋氏が書いたドキュメンタリー『官僚との死闘700日』に詳しい。増税する前に、まず政府の無駄な出費を減らすことを主張する上げ潮派の論客。

著書『さらば財務省！』は山本七平賞を受賞した。

主な著書

「財投改革の経済学」（東洋経済新報社）・「さらば財務省」（講談社）・「バランスシートで考えれば世界の仕組みがわかる」（光文社新書）・「この経済政策が日本を殺す」（扶桑社新書）・「官愚の国」（祥伝社）・「これからの日本経済の大問題がすっきり解ける本」（アスコム）等